

2022年7月22日

2022年7月22日（金）午前10時30分より、京都市役所・正庁において門川大作京都市長、田中明秀京都市会議長、吉田孝雄京都市会副議長、梅澤優司京都市文化市民局スポーツ担当局長らのご臨席のもと、京都ロイヤルダンス教師協会の10年にわたる活動に対し、京都市より「感謝状」の贈呈式が挙行され、当協会より、会長 松岡徹二、理事 瀬川滋子の両名が代表して参列。感謝状を拝受させていただきました。

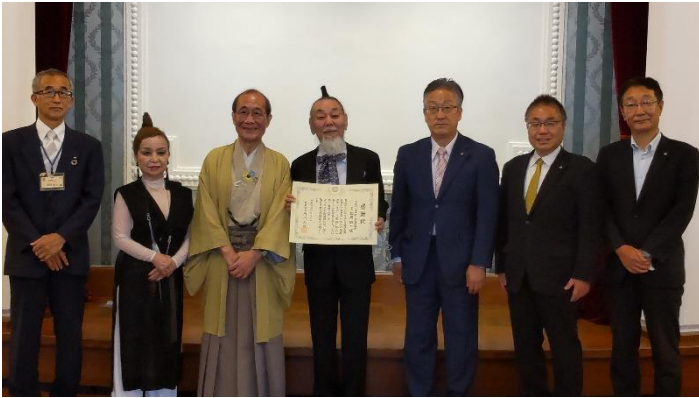
今回の栄は、協会設立時より実施してまいりました、競技会について、京都府ならびに京都府教育委員会、京都市ならびに京都市教育委員会からのご後援をいただき、10年の間、「春の市長賞」「秋の知事杯」として、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言等の発出による中止を除き、継続開催を重ね、出場者、観客動員含め、のべ約1万人の方々とともに、社交ダンスを楽しむ場を提供してきたこと、また、競技会として競技選手が実力を競うことはもとより、そこには、なかなか参加しにくい、一般の社交ダンス愛好家の方々にも、より幅広くご参加いただけるものとして、プロ・アマミックスによる「西日本チャンピオンシップ」やプロが競技ではないパフォーマンスを披露する「ダンスフェア」などを併催することによって、幅広い世代の社交ダンス愛好家が一堂に会し、社交ダンスを楽しむことのできる場を提供してきたことをご評価いただけたものと拝しております。また、有難くも、同様の主旨にて、京都府からも感謝状を授与いただけることが内定しております。

今後は、これまで積み上げてきた競技会開催の実績をさらに継続しつつ、スポーツ振興の側面からの社交ダンスをより盛り上げていくとともに、「文化庁京都移転」という絶好の機を逃すことなく、芸術・文化の側面からの社交ダンスの魅力を宣揚していきたいと考えます。

当協会の綱領、「およそ文化とは、人間生命の具体的開花であり、全社会的な祭典であり、人間の心の中に高まる英知、情熱、感動を具現した価値創造の活動、それ自体である。」を協会員各位とともに、会長並びに運営役員が心を同じくして実践し、社交ダンスの文化的価値の向上、後継者の育成、尽未来際への発展に尽力していく決意です。

何卒、変わらぬご支援、ご指導、ご鞭撻をお願い申し上げ、ご報告と致します。

京都ロイヤルダンス教師協会会長 松岡 徹二



梅澤局長 瀬川理事 門川市長 松岡会長 田中議長 吉田副議長 湯浅市議

